

佐野短期大学シラバス2013

| | | | | |
|--|---------------------------------|-----------------|------------------|---------|
| 科目名 Subject Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
| 保育実習指導Ⅲ Guidance and Evaluation on Child Care Practice Ⅲ | | 2年 | 前期 | 水曜日・2時限 |
| 単位数 | 授業の形態 | | 授業の性格 | |
| 1単位 | 演習 | | 選択 (保育士養成課程選択必修) | |
| 当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目 | | | | |
| 障害児保育Ⅰ、障害児保育Ⅱ、社会的養護 | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 保育士資格取得に必要な科目 | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | 電話番号・メールアドレス | |
| 大塚登 | 本館2階 | 火・水・木・金の9時から17時 | 授業中に指示します | |
| 授業の概要 | | | | |
| 保育所以外の児童福祉施設で保育実習を行う場合の実習内容、実習にあたっての注意点を学ぶ。また、社会的養護の意義を再考し、その目的に沿った子どもたちへの支援を考えることを通し、個々の実習施設及び保育士の仕事について理解を深め、実践力を養う。 | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 受講生の多くは障害児通所支援事業所、数名が児童館での実習を行う予定である。①保育実習Ⅲに向けて、自分が実習する施設の目的などを再確認し、必要な基礎的技術を習得することができるようにする。②子どもや保護者にとって必要な保育士の存在は何かを考え、保育士として必要な知識と技術を学び、適切な援助ができるようにする。③それぞれの施設で専門職として必要な知識だけでなく、社会人としてのわきまへの大切さを自覚して取り組めるよう、基礎的なマナーについても学び、保育士としての意識向上を目指すことができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 児童福祉施設の意義や目的を再確認するために、全体授業を行う。児童福祉施設の支援内容などを具体的に理解するために、個々の学生が個々の配属先の支援内容について調べ発表を行う。 | | | | |
| 学習の成果 | | | | |
| 受講生のほとんどは保育所以外の児童福祉施設について、授業で学んだ以外は実際は知らないと思われ、実習を前にいくらか不安があると思われる。そのため、この授業を受講することで、 ①それぞれの実習施設に応じた実習準備をすることで責任ある態度で実習に臨むことができる。 ②保育士の社会的立場を理解し、社会人としてわきまのある行動をとることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス (保育実習Ⅲのねらい、授業の計画、評価法の説明) | | | |
| 第2回目 | 実習上の留意点 (2月の保育実習、6月の教育実習を振り返って) | | | |
| 第3回目 | 実習施設の法律上の位置づけとねらい | | | |
| 第4回目 | 各実習施設の理解Ⅰ (支援内容などを調べる) | | | |
| 第5回目 | 各実習施設の理解Ⅱ (発表する・発表を聞き自分の調べを補う) | | | |
| 第6回目 | 各実習施設の理解Ⅲ (発表する・発表を聞き自分の調べを補う) | | | |

| | | | |
|--|--|-----|---|
| 第7回目 | 実習日誌の書き方Ⅰ (「実習に臨んでの抱負・課題」文章化する) | | |
| 第8回目 | 実習日誌の書き方Ⅱ (「実習に臨んでの課題・抱負」を発表し、共有化する) | | |
| 第9回目 | 各実習施設の理解Ⅳ (先輩の実習体験から学ぶ)・映像資料 | | |
| 第10回目 | 各実習施設の理解Ⅴ・映像資料 | | |
| 第11回目 | 実習日誌の書き方Ⅲ (「実習に臨んでの課題・抱負」と「本日のねらい」の関連) | | |
| 第12回目 | 実習日誌の書き方Ⅳ (「本日のねらい」と「1日の活動記録」、「反省会記録」の関連) | | |
| 第13回目 | 提出書類の記入と確認 (実習生調書・保健関係など) | | |
| 第14回目 | 保護者の気持ちを考える・映像資料 | | |
| 第15回目 | 保育実習Ⅲに向けての確認 (実習施設でのオリエンテーション設定、書類、腸内細菌検査、日誌等) | | |
| 成績評価の方法と基準 | | | |
| | 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| | 授業参加態度 | 50% | 保育士・実習生としてふさわしい態度とは何かを考えて授業に参加してもらいたい |
| | レポート | 15% | 「実習に臨んでの課題・抱負」の作成 |
| | 調査報告書 | 25% | 各実習施設の目的、支援内容を調べる課題15% 実習日誌の書き方10% |
| | 小テスト | | |
| | 中間・学期末試験 | | |
| | 発表内容 (態度含む) | 10% | 調べた内容を聞き手に分かりやすいよう、棒読みではなく、適度な声の大きさ、速さで発表してもらいたい。 |
| | その他 | | |
| 教科書と参考図書 | | | |
| 佐野短期大学「保育実習の手引き」 | | | |
| 履修上の心得・ルール | | | |
| やむを得ず欠席する場合は、必ず欠席届とその授業に相当する課題レポートの提出をすること。授業内提出物の不備が目立つ場合は、実習に臨むことが困難になるので、気を付けていただきたい。 | | | |